

# 〈重点研究2〉 持続可能な地域運営に備えた人材育成に関する研究 ～担い手確保に接続する動機付けの手法開発～

研究期間 2022年4月～2025年3月（3年間）

担当者：皆田 潔、有田 昭一郎

## 背景と目的

近年、若い世代の地域への関心がふるさと学習等の効果により高まり、地域活動への参加と課題解決につながっています。他方、地域に元々暮らしているその上の世代層に対しては、声かけや行事への参加を促す努力があるものの、地域活動に対する理解が低く、役や仕事を押しつけられる警戒感から、敬遠されやすい状態にあります。

地域の担い手を確保するためには、まず、その地域への

理解を深め、関心を高める段階が欠かせません。それが地域に対する基盤となり、地域活動への参画意欲に結びつくと考えられます。

そこで、本研究では、地域運営の担い手育成に必要な、地域の実態や課題への理解や参画の動機付けに必要な人材育成方法を福祉や教育分野の知見を加えて、汎用性のある育成プログラムを開発します。

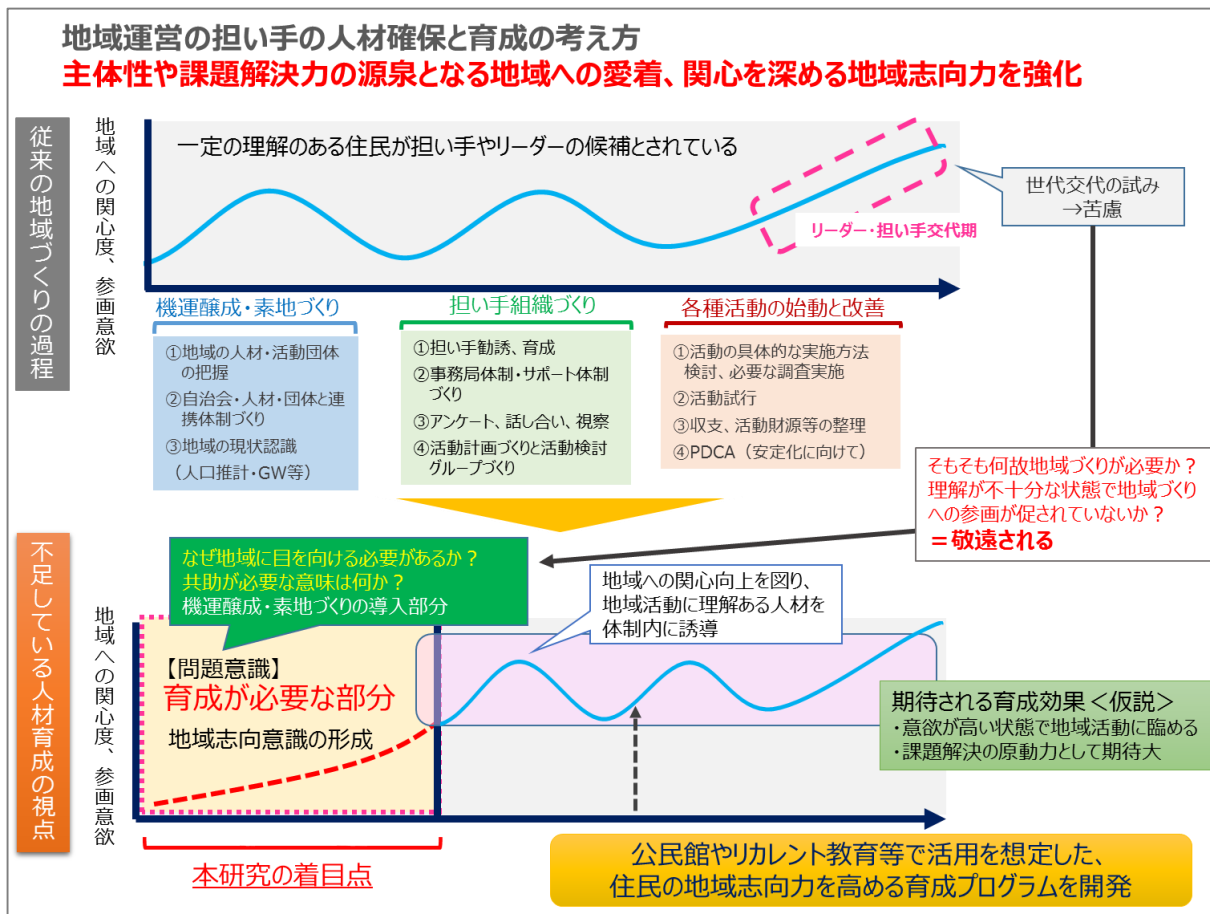


図 研究のイメージ 問題意識と課題設定

## 研究の方法と到達点

研究の方法	研究の到達点
① 地域への関心を高める学びの手法の整理 研究協力：静岡大学、県立石見高等看護学校他	→ ◆ワークショップ、OJT、インターンシップ等の各育成手法の長短所を示し、公民館での生涯学習や高校や大学における地域志向教育での活用を想定
② 小さな拠点づくりにおける地元学の有効性検証 研究協力：地元学ネットワーク他	→ ◆地元学を実践した個人や事後に生じた地域の変化の検証し、地域に関心を寄せる人材の確保に貢献する。
③ 住民参加の動機付けとなる人材育成プログラムの手法開発	→ ◆学校や公民館等での活用を想定した、地域への関心や愛着を高める育成プログラムの設計と試行 ◆教育や福祉分野と協働した人材育成の検討